



# Be Creative



## So, what can we do!

# ASEP Gold Award 受賞

2024 年 12 月 26 日・27 日の二日間、台湾高雄市立小港高級中学校を会場に、台湾高雄市はもちろん、韓国・インドネシア・ベトナム・カンボジア・フィリピン・日本などアジアの大学生・高校生が集い、Asian Students Exchange Program (ASEP) が開催されました。日本からは立命館高校・早稲田摂陵高校・奈良育英高校・福井商業高校など、夏に World Youth Meeting (WYM) に台湾の学校とペアを組んで出場した高校生が多数参加をしました。愛知県からは本校と名古屋商業高校の先生・生徒が参加をしました。今年の ASEP のテーマは「Net Zero」。本校のグローバル英語コース 2 年生の生徒 4 人と高雄市立鼓山高級学校 6 人の生徒合わせて 10 人、指導して下さった VIC 先生、植田先生とともに英語でのプレゼンにチャレンジし、Gold Award を受賞することができました。アジアの意欲あふれる大学生・高校生から学ぶことは多く、共に同じ世界に生きる仲間たちと手をつなぐことの大切さを肌で感じることができる大会でした。

以下はそのプレゼンの概要です。



SDGs 目標 13 においては、排出される温室効果ガスの量を吸収量・除去量と差し引きゼロにしようとする”Net Zero (ネットゼロ)”の取り組みが提唱されている。具体的には二酸化炭素の排出量を抑制することが私たちに求められている。しかし、人々の認識や行動の不足により、ネットゼロの取り組みはうまくいっていないのが現状である。そこで私たちは何をすべきなのかを議論し、共に考えてみた。最も重要なことは、より多くの人にネットゼロの取り組みを認識してもらい、実際に行動してもらうことである。すでに私たちはいくつかの取り組みをし、SNS などを用いて多くの人々をネットゼロの取り組みに巻き込み始めている。こ



の波がどんどんと広がっていき、ネットゼロの世界を実現するための大きな力となることを信じている。

何よりも多くのことを学んだのは参加した生徒たちです。参加をした 4 人の生徒の皆さんの感想を紹介します。この感想文は台南から台北に向かう帰りの高鐵(台湾の新幹線)の中で書きました。

## So what can we do 沼 涼太

僕は台湾・高雄で開催された ASEP に参加し、貴重な経験をしました。アジア各国から集まった学生たちと英語でコミュニケーションを取りながら、SDGs に関するプレゼンテーションを作成しました。この過程で、異なる文化や価値観を尊重しながら意見を調整する大切さを学びました。また、英語で自分の考えを伝える難しさを感じると同時に、相手に伝わった時の達成感も味わいました。現地ではホームステイを体験し、台湾の家庭や文化に直接触れることができました。温かいおもてなしを受けたことで、台湾の人々の優しさを実感しました。自由時間には、現地の学生と観光地を巡りながらさらに交流を深めました。このプログラムを通じて、英語力だけでなく国際的な視野や協調性を養うことができました。



## 心をつなぐ旅が教えてくれた、未来への可能性 鈴木逢紗



今回の ASEP・台湾訪問を通じて、私は多くの学びと成長を得ることができました。まず、異文化交流の素晴らしさを肌で感じることができました。言葉や習慣の違いに戸惑いもありましたが、共通の目標に向かって協力する中で、言語の壁を超えるコミュニケーションの大切さを実感しました。また、プレゼンテーションの準備では、自分の意見を明確に伝える力や、チームで課題を解決する力が求められました。

この経験を通じて、リーダーシップや柔軟性が以前よりも身についたと感じています。一方で、「もっと積極的に話しかけていれば、さらに深い交流ができたかもしれない」と後悔する場面もありました。この気づきを今後に生かし、どんな場面でも一歩踏み出せる自分でありたいと思います。ASEP は、世界が広がると同時に、自分の可能性を信じるきっかけをくれました。この経験を胸に、将来どんな困難にも挑み続け、グローバルな視野を持った人間になりたいと心から思っています。



## 台湾での六日間を通して 加藤結明



私は ASEP を  
通して台湾の人

たちの優しさ、そして台湾の文化を知ることができました。最初は少し不安でしたが、会った瞬間からみんなフレンドリーで、優しく話しかけてくれて嬉しかったです。そして台湾だけでなく韓国など他の国の人とも関わることで幸せでした。ホームステイでは、うまく言葉が伝わらないことや食の習慣の違いなど、大変なこともありましたが、新しく台湾を知ることができたし、台湾の友達はみんなすごい良くしてくれていろいろなところに連れて行ってくれたりして、本当に良かったです。違う国のご飯を食べることはとても勇気が必要でしたが、台湾の美味しい食べ物を知ることができました。



プレゼンの練習ではみんなが熱心にやっていて、私もすごく頑張ることができました。休憩の時間には同じチームの子達と話せて、共通の話題があるとすごく盛り上がりまして楽しかったです。私は今回の台湾で、少し英語を聞き取れるようになった気がします。そしてなかなか言いたいことが伝わらなくても英語で伝えようと頑張りました。だから理解してもらえた時はとても嬉しかったです。台湾は自分が思っていたより何倍も良い国で、みんな優しく良い思い出になりました。



## ASEP:2 回目の英語プレゼンテーション 仰木誠博



ASEP 大会に参加した経験は、私にとって本当に貴重でした。アジアの学生たちと集まって、SDGs の 13 番「気候変動に具体的な対策を」というテーマでプレゼンを作り、気候変動について改めて学ぶいい機会になりました。気候変動はみんなに影響を与える問題なので、国や地域を超えて協力することが大切だと実感しました。プレゼンの準備では、仲間たちと意見を出し合いながら進めました。英語があまり得意ではない私には、コミュニケーションが特に難しかったけど、先生や友達がサポート

してくれたおかげで、少しずつ自信がついてきました。他の参加者の発表を聞くことで、いろいろな視点やアイデアに触れられて、自分の考えも広がった気がします。大会当日、緊張しながらも、自分たちのプレゼンを発表しました。多くの人の前で話すのは WYM に続き 2 回目で、最初はスクリプトをうまく覚えられなかったのですが、本番ではちゃんと覚えられて最後までやり遂げることができました。発表の後には、他の参加者や審査員からフィードバックをもらって、自分たちの取り組みがどう受け止められたのかを知ることができました。この大会を通じて、気候変動についての理解が深まるとともに、仲間との絆も強くなりました。私たちの小さな努力が、未来に大きな影響を与えると感じました。これからも、SDGs の達成に向けて自分にできることを考えて、行動していきたいと思います。

★VIC 先生の英語の授業に飛び入り参加。何と、日本の授業で習っているのと同じ「It's high time to」の構文の授業。VIC 先生のテンポのよい授業にすぐに溶け込みました。楽しい授業参観でした。



私にとっても大変充実した体験となりました、グローバルなマインドを持った生徒たちは素敵！心からそう思える一週間を過ごすことができました。台湾・日本の先生・生徒の皆さん、ありがとう！